

令和4年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第八小学校

4年	【目指す授業】	文章中に根拠をもって自分の意見を考える授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章を、自分の思いで解釈してしまう。 ○自分の感想はもてるが、根拠のある意見をもつことに課題がある。		○辞書を積極的に用いて、語彙を増やす。また、図を用いて文章を構造的に理解させる。 ○文章中の叙述を根拠に自分の考えをもたせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容を概ね理解している。		89.1%	95%	%
	国語の学習は得意である。		70%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	自分の考えや意見を率先して共有し合う授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○話を聴くことに課題がある。 ○友達の考えに対する関心が薄い。 ○読解力が低い。		○話を聞いて重点・要点を捉えられるよう日頃から指導する。 ○意見を交流し学び合う授業を展開する。 ○叙述を根拠に検討し合う授業展開を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容を概ね理解している。		91.9%	95%	%
	国語の学習は得意である。		62.1%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	自身の考えを記述し、共有・訂正を行う授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○読解力が低い。 ○書く力に課題がある。 ○ディベートする力が低い。		○叙述をもとに検討し合う授業展開を行う。 ○毎単元自分の考えを書く活動を行い、文章の添削を児童同士で行わせる。 ○相手に対する考えをもち、記述させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容を概ね理解している。		83.9%	90%	%
	国語の学習は得意である。		50%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和4年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第八小学校

4年	【目指す授業】	考え同士を関連付けながら考え、学習内容が定着できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○基礎的な計算技能・知識の定着に課題。 ○公式や解法の意味を理解せず、操作の仕方の暗記に止まっているため、学習したことを活用することに課題がある。		○復習問題や反復練習の時間を多くとる。 ○友達の考えを、言い換えたり、比較したりすることで、表面的な理解ではなく、自分の考えをより深く理解できるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容を概ね理解している。		81.8%	85%	%
	算数の学習は得意である。		71.8%	85%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	自ら「問い」を生み出し、論理的に考えることができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習内容につながりを意識できていない。 ○事象を論理的に考え説明することが苦手。 ○知識・技能の定着に時間がかかる。		○教材の出し方や見せ方を工夫する。 ○友達の考えを「読む・比較・変換」する場面を意図的に設定する。 ○学力に合わせた習熟を設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容を概ね理解している。		91.8%	95%	%
	算数の学習は得意である。		74.7%	85%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	既習事項と学習内容を関連付け、意見を共有・訂正する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○既習事項の理解が低い。 ○基礎計算力が低い。計算に時間がかかる。 ○他教科に比べ算数の理解度が全体的に低い。		○関連のある既習事項の確認を行う。 ○毎時適用問題を行う。 ○テスト形式の問題に慣れさせるよう、テスト前にテスト形式で既習事項を確認する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容を概ね理解している。		84%	95%	%
	算数の学習は得意である。		60.4%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			